

14 新規加入選手紹介



聴覚障がいのある新見功選手をご紹介します！
自転車競技では、Track競技を中心に日々トレーニングに励まれています。また、競技力向上の一環としてローイングにも取り組まれています。現在、自転車競技（Track）やローイングはデフリンピック正式種目ではありませんが、「いつかデフリンピック種目になること」を目標に掲げ、挑戦を続けています。

【経歴】

第23回CSC5時間耐久チームサイクルロード3位

第26回鳥取県民スポーツレクリエーション祭Track競技 40代の部：1km1位 200m1位

15 2025シーズンの主な結果

ローイング	森 卓也	全日本ローイング選手権	東京都	10km11:52.2 (1位)
		World Rowing Championships	上海	10km10:09.6 (9位)
陸上	井上 流生	WPA公認第36回日本バレー陸上競技選手権大会	愛媛県	砲丸投げ5m67 こん棒投21m26 (大会新)
		WPA公認2025ジャパンバレー陸上競技大会	宮城県	砲丸投げ6m(大会新) こん棒投21m35 (大会新)
	矢富 竜	かがみのマラソン&ウォーキング大会FINAL	岡山県	1時間32分9秒 (ハーフ)
		国宝松江城マラソン	島根県	3時間44分57秒 (フル)
		鳥取マラソン	鳥取市	3時間30分58秒 (フル)
	木次 亮介	すいかながいのマラソン	大栄町	53分25秒 (10km)
		備前日生大橋マラソン	岡山県	51分12秒 (10km)
車椅子ラグビー	角 佳樹	三井不動産 車いすラグビー - SHIBUYA CUP 2025	東京都	2位
		渋谷区長杯 第8回車いすラグビー大会	東京都	1位
		第27回 車いすラグビー - 日本選手権大会	千葉県	2位
		2025米子ローグリングカップボッチャ大会	米子市	1位
ボッチャ	高尾 望巳	第27回日本ボッチャ選手権大会西日本予選	愛知県	予選リーグ 敗退
		第27回日本ボッチャ選手権大会西日本予選	愛知県	決勝トナント戦敗退
	松下 真一朗	台湾ボッチャ大会	台湾	BC2 3位
		わたSHIGA輝く障球	滋賀県	銅メダル
		2025米子ローグリングカップボッチャ大会	米子市	3位
	後藤 瑞希	ドバイ2025アジア選手権大会	ドバイ	4位
		第27回日本ボッチャ選手権大会	愛知県	予選リーグ 敗退
	富田 直輝	第27回日本ボッチャ選手権大会西日本予選	愛知県	予選リーグ 敗退
		2025米子ローグリングカップボッチャ大会	米子市	BC4/ア2位
	上野 柊斗	第5回ボッチャオープンチャンピオンシップ	神奈川県	予選リーグ 敗退
		第5回ボッチャオープンチャンピオンシップ	神奈川県	予選リーグ 敗退
水泳	安達 和幸	2025米子ローグリングカップボッチャ大会	米子市	OPクラス準優勝
	村田 静也	第31回中国四国身体障害者水泳選手権大会	広島県	25m：平泳ぎ26.24 (1位) バタフライ57.11 (1位)
		第42回、日本バレー水泳選手権大会	千葉県	シニアの部50m平泳ぎ57.70 (1位)
	中村 仁士	第31回中国四国身体障害者水泳選手権大会	広島県	自由形：50m40.06 (1位) 100m1:24.56 (1位)
		2025ジャパンバレー水泳競技大会	愛知県	自由形：50m43.47 100m1:25.16 (4位)
		第42回日本バレー水泳選手権大会	千葉県	自由形：50m39.07(5位) 100m1:23.25(4位)
	入江 真美	わたSHIGA輝く障球	滋賀県	自由形：25m19秒 (2位) 50m 38秒 (3位)
サウンドテーブルテニス	村田 静也	第38回あすびあおいたサウンドテーブル大会	大分県	1位
		第21回全国視覚障害者卓球大会	東京都	予選敗退
		第5回遠藤杯岡山サウンドテーブル大会	岡山県	2位
アーチェリー	野上 亜紀	第49回じぎく杯アーチェリー大会	兵庫県	603点 (準優勝)
		第58回全日本社会人ターゲットアーチェリー選手権	東京都	592点 (予選6位)
		第26回鳥取県民スポーツレクリエーション祭	鳥取市	640点 (優勝)
		第25回中国地区インドアーチェリー選手権大会	岡山県	535点 (優勝)

1 山陰各地でパラスポーツ普及活動を実施！

松江清心養護学校にてパラスポーツ体験会を実施しました。これは、2030年に島根県で開催される全国障がい者スポーツ大会に向けた選手発掘事業の一環として行われたものです。当日は、ボッチャ、陸上レーサー、陸上座位投擲、スラローム競技など、さまざまな競技を体験できる機会を設け、選手たちが指導を担当しました。参加した生徒の皆さんは、新しい競技との出会いを通して、スポーツの楽しさや自分自身の新たな可能性を感じている様子でした。

また、米子市の民生委員研修会や住吉小学校での人権学習においても講師を務め、パラスポーツや障がい理解についてお伝えする機会をいただきました。



2 森卓也 二連覇！！



第103回全日本ローイング選手権シングルスカルに出場して、優勝し二連覇を達成しました。肘の手術や肋骨の疲労骨折などを乗り越えての優勝！50歳を超えても、まだまだ闘います！！

3 角佳樹 準優勝！



「第27回車いすラグビー - 日本選手権大会」で角が所属するFreedomは、持ち前の粘り強さと、最高のチームワークを発揮し、2年連続となる準優勝を果たしました。次こそ優勝！

4 安野祐平 パラ陸上800m 日本記録更新！！

2026ジャパンパラ陸上競技会に安野祐平選手が出場し、トラック競技100mと800mに挑戦しました。

100mはスタートの遅れが響き、22.46秒で2位という結果でしたが、800mでは見事な走りを見せ、日本記録を0.45秒更新する2分44秒10で優勝しました！

この春から800mを重点的に練習してきた成果が形となり、「結果が出てとても嬉しいです！」と安野選手。

「次も更新を目指して頑張ります！」と、さらなる記録更新へ意気込みを語ってくれました。



5 野上亜紀 パラアーチェリー国際大会に出場!!

初の国際大会という舞台でも持ち前の度胸を発揮し、最後まで全力で戦い抜きました！
「遠征期間中のタイは真夏にあたり気温が 40℃に至る日もありましたが、経験豊富な選手の皆さんとご一緒することができ、選手としてどうあるべきか、遠征中どう過ごすべきか等、学びの多いものとなりました。鳥取県から世界へ羽ばたく選手の一助になりましたら幸いです。引き続き応援よろしくお願いします！」
(本人コメント)



6 陸上長距離チーム 力を合わせて日々成長！



木次亮介選手

矢富竜選手

「かがみのマラソン」「松江城マラソン」「鳥取マラソン」など、県内外7大会に出場しました。矢富選手・木次選手に加え、今年は大谷Dr、炭山トレーナーも一緒に参加し、練習から大会までチームで励まし合いながら取り組みました。日々の積み重ねを通して、競技力だけでなくチーム力も高まり、皆で成長を実感できるシーズンとなりました！

7 井上流生 新たな出会いから飛躍の予感

井上流生はこれまで砲丸投げで記録更新ができませんでしたが、松江清心養護学校でのバラスポーツ体験会で、島根県記録保持者であり、多くの実績を持つ福島翔太郎さんと出会い、指導を受ける事ができました。
障がい特性への理解も深く、新しいフォームや身体の使い方を学ぶことで、投擲距離が大きく伸びています。今年度の大会での活躍にご期待ください。



8 視覚障がいの部で活躍

村田静也（視覚障がい）は、水泳とサウンドテニス（STT）の選手です。まっすぐ泳ぐ難しさを乗り越えながら努力を続けています。STTでは、音の鳴るボールを頼りに素早く反応し、迫力あるプレーを見せています。本チーム最高齢の頑張る選手です！

9 中村仁士 努力賞受賞



優秀勤労障害者の努力賞を受賞しました。当チームの選手は、競技以外にも全力で頑張ります。
「最善の環境を整え僕に出来ることを提供していただき感謝の気持ちで日々働かせていただいております。」

10 米子ロータリークラブカップボッチャ大会で活躍！

エリートクラス（個人戦）・一般クラス（チーム戦）合わせて200名を超える選手が、鳥取県立武道館で熱戦を繰り広げました。当チームからは4名の選手が出場し、好成績を収めました。本大会には、障がいのない方も参加できる部門が設けられており、誰もが同じ空間でスポーツを楽しめる、共生社会の実現につながる大会となっています。選手たちの活躍を、多くの方に見ていただく良い機会となりました。



【エリートクラス（個人戦）】

・BC1	高尾望巳	1位
・BC2	松下真一朗	3位
・BC4	富田直輝	2位
・オープン	安達和幸	2位



11 松下真一朗 初の国際大会で快進撃！

台湾で開催された国際交流大会に、松下真一朗（BC2クラス）が参加しました。熱戦の結果、準優勝という素晴らしい成績を収めました。松下選手にとって初めての国際大会出場となり、大きな緊張もありましたが、最後まで全力でプレーし、貴重な経験を積むことができました。



※2位が松下真一朗

12 後藤瑞希 アジアユースパラ競技大会で4位



米子駅で出発を見送るチームメンバー

若手アスリートが集う国際大会。ドバイ2025アジアユースパラ競技大会のボッチャ競技BC3女子に日本代表として出場しました。国際大会初出場ながら予選を勝ち抜き、準決勝へ進出。惜しくもメダルには届きませんでしたが、第4位という素晴らしい成績を収めました。世界を舞台に、多くの強豪選手と対戦する中で、技術面だけでなく精神面でも大きく成長できた大会となりました。

13 わたSHIGA輝く障スポ2025で活躍！（水泳、ボッチャ）



入江真美（聴覚障がい）が、全国障がい者スポーツ大会の水泳競技に出場し、25m自由形で準優勝、50m自由形で第3位と大健闘しました。今シーズンは体調を崩し、競技継続が難しい状況もありましたが、最後まで頑張りました。ボッチャ競技では松下真一朗がペア戦に出場し、第3位となりました。ペア同士での意思疎通や連携が求められる難しさを経験しながらも、貴重な経験を積む大会となりました。